

食堂のリノベーション

平成30年度は「EAT・Commons プロジェクト「食育」と食堂を多目的機能を持たせるリノベーション」というタイトルでがんばる先生支援事業に選定をいただきました。図書館リノベーションと同じように生徒による「ものづくり」と「空間づくり」を行うことで現場のデザインを体感し、空間の制作にあたって市場調査を行うことでデザイン知識を研鑽することを目的として食育にも注目しながら食堂のリノベーションを行いました。生徒自らが製品や空間を作り出し「デザインやアート」を学ぶ本校の特性を活かす授業として生徒が使用する食堂を作り上げることで、「ものづくり」の難しさ、協働授業やアクティブラーニングを活用してのデザインワークの向上をめざすことができました。生徒たちが材料の選定方法を協議し、見積もり方法を学習することで、実業教育の実践上、経験する事の難しいコストパフォーマンスを学ぶ機会を得ることもできました。食堂をリノベーションしたことで、たくさんの学生が毎日食事をとる空間が明るくなり、コミュニケーションのとりやすい環境の中で、木目がやさしい空間で居心地のよい食堂へと生まれ変わりました。また、動線計画を見直すことにより人・物・厨房のつながりと距離間を改善しました。自分たちの作り上げた空間の中で食事をとることができる学校は本校だけではないかと自負しています。

①椅子のリノベーション風景



②壁面に黒板アートを採用



③食堂販売口リノベーション前



④制作した椅子カバー



⑤手洗い場リノベーション



⑥食堂販売口リノベーション後



新しい食堂入り口

